

パンドラつうしん 第18号

2002年5月20日発行

おかし工房パンドラの新しい門出(おかし工房パンドラ前にて)



今回の内容

- パンドラの会、代表あいさつ 2p
- パンドラの会、職員あいさつ 3p
- パンドラの会、最近のニュース 4p
- パンドラ・アイシンスキーツアー報告 5p
- パンドラの会からのお知らせ 6p



平成 14 年度の出発！

平成 14 年 4 月 2 日、「NPO 法人パンドラの会」平成 14 年度入社式を行いました。4 人の安城養護学校の卒業生と、刈谷市職安からの女性 1 名合わせて 5 名の作業員と職員の新人 1 人を迎え、賑やかにスタートしました。今年度から事業所としての体制も充実したものとなり、組織としての基盤が出来上がりました。一緒に立ち上げてきたパンドラのメンバーの子ども達以外に、新たに 2 人の方が入れ、NPO 法人パンドラの会が、門戸を開いていることを証明しました。NPO 法人として、今後刈谷市で市民権を得ていく為にも、確固とした組織力と人材の育成が大切だと考えています。昨年度は社会福祉士の資格を持ち、お菓子の作れる女性を採用し、本年度は精神保健福祉士の資格をもつ男性を採用しました。薄給にも関わらず日本福祉大学を卒業した二人の若者は、おかし工房で作業員の方々と一緒に仕事に励んでいます。又母ボランティア・一般ボランティアさんに頼っていた人手も 3 人のパート職員の採用で、日々のサポートは完全なものになりました。しかし、作業員のサポートのため、生産量は大幅に減少しています。その補いを母ボランティアにお願いしています。勿論職員も協力しています。この生産量の落ち込みは、きっと作業員の方々が熟練してくれば無くなるものと確信しています。今年度はじっと我慢の年だと考えています。

刈谷市との話し合いの結果、本年度は 160 万円が補助金として下りるようになりました。国庫補助金 110 万円と合わせると年間 270 万円になります。この金額は一人分の人件費として消えてしまいます。

組織の充実を図る為にも、NPO 法人が社会に認められ、刈谷市からの委託事業が受けられる様にしていきたいと思っています。IT 関係の仕事は NPO 法人にも委託事業が多くありますが、障害者福祉はまだまだ社会福祉法人でないと難しい現実があります。NPO 法人でもしっかりと組織力を持ち、一般市民から認められれば社会福祉法人に決して負けないと思います。そうなれば委託事業を受けることも夢ではなくなると思います。福祉社会が充実していく為には、民間の NPO や NGO のような非営利組織が行政の狭間を埋めることが、より大切になると思っています。NPO や NGO は多額の資金を必要とせず、ニーズに合ったサービスをより細かに適切にしていけるからです。又 NPO や NGO も委託事業を受けることにより、事業収入の充実が図れ、組織の基盤が確固たるものに成って行くのではないのでしょうか。今後パンドラの会も、刈谷市からの委託事業を受けられるよう頑張っていく予定です。(代表 岡部扶美子)

一年を振り返って

お菓子工房パンドラで働いて一年が過ぎました。去年一年を振り返り反省とともに今後の目標を述べたいと思います。私はこれまでに障害者と関わる機会がなかったので去年一年は実習のような感じで、どう接してどう援助していくか手探りの状況でした。現場に出て学ぶことも多く勉強してきたことが少しずつつながってきているような気がしています。さまざまな研修に参加させてもらい、たくさんの刺激を受けて、もっと勉強していかなければいけないと思いました。がしかし、なかなか実行に移せませんでした。

障害者の人格や性格を変えていくのは援助者の考え方によってある程度決まってしまうと聞いたとき、考える力をもっと養って、いろんな方向から物事を見ていかなければいけないと感じました。新しく5人のメンバーが加わり、新しいスタッフで一ヶ月が過ぎました。今年一年もバタバタとあっという間に過ぎていくような気がしてなりません。そういう中でその場しのぎの援助ではなく、長い目で見て一人一人のペースにあった援助をしていかなければならないと思いました。去年一年ずっと感じてきたのは、障害者の作業所だけ障害者が主体となっていないのではないかと、私たちのペースで物事を見てきたように思いました。でも障害者のペースに合わせると生産力が思うように上がらない。その二つのバランスが難しいと感じています。いろんな面をあわせもったお菓子工房パンドラで働くことは本当に大変なことだと感じました。運営していく力、障害者を援助していく力、お菓子を作ること、さまざまな力が必要になってきます。まだまだどの力も完璧ではありません。一つ一つ丁寧に仕事をしながら、学び成長したいと思います。ご指導よろしく願います。
(鈴木小夜子)

新人職員、ごあいさつ

パンドラの会の新人職員として働きだして一ヶ月余り、工房で働く人たちをはじめ、パンドラを取り巻く環境全てが勢いと活気に満ちあふれていることに驚かされます。地域社会との連携・当事者参加・NPOといったキーワードを背景に、新しい社会福祉の潮流を具現化しているからでしょうか。この春から関わり始めたため、その重みや奥深さをまだ十分に理解してはいませんが、パンドラの会の設立・運営には、ご家族の方の勇気と努力はもちろんのこと、多くの人たちの力強い支援があることが推測されます。素晴らしいことだと思いました。

今回、このような素敵な会に参加する機会を与えて下さった皆さまに感謝の気持ちを表すとともに、お声をかけていただいたことを光栄にも感じております。まだまだ駆け出しの身ではありますが、一日も早くパンドラの会や、会を支援して下さっているみなさまのお役に立てるように頑張っていきたいと思います。どうぞ今後ともご指導、ご支援をよろしく願います。

ところで現在、おかし工房パンドラで働く傍ら、日本福祉大学大学院・社会福祉学研究科にて障害を持つ人たちの就労に関する研究を行っております。皆さまと共に障害を持つ人たちの就労問題を考えていきたいと考えています。併せてのご指導、ご支援をお願い致します。(田引俊和)

パートナーサポート大賞に応募

パートナーサポートセンターの懸賞募集に応募しました。「NPO と企業との協働事業」が応募内容だった為、パンドラの会としてはこれを見逃すことは出来ないと考えたのです。協働事業の対象企業を株式会社デンソー様と刈谷生協様に絞り、各企業の協力を求め応募することが出来ました。応募資料もかなりの物でしたが、㈱デンソー様の協力もあり、なんとかぎりぎり間に合いました。

最終的に全国から35件の応募があり、どれもなかなかの内容だったそうです。そのうち一次審査で11件残りました。なんと！！パンドラの会はその11件の1件になったのです。そして先日、5月14日にはヒアリングが行われると言う嬉しい通知がありました。これは「ひょっとしたら？」なんて期待をもってしまいます。この結果は次号でお知らせいたします。お楽しみに！

アイシン協力のもと、プレゼンで優秀賞受賞

1月30日に行われたPSC（パートナーサポートセンター）主催の「企業の出前」で日立システム㈱より、22団体のプレゼンテーションの内、2団体のみ優秀賞として、5万円の賞金をいただきました。

これはアイシン精機㈱のパソコンボランティア岩下祐司さんに作成していただいたプレゼンテーション用資料のお蔭です。仕事が終わってから、疲れているにもかかわらず、夜遅くまで私のわがままを聞き入れていただき、心より感謝しています。有難うございました。この内容については、ニュースで放映されたそうです。

「NPO 法人パンドラの会」を支える会、発足

平成14年4月2日[NPO 法人パンドラの会を応援する会]が発足しました。

今まで、「NPO 法人パンドラの会」の一部署であったボランティア部門を、組織上独立させました。主な活動は、この活動を理解し支援していただける人たち（賛助会員）の募集活動・パンドラの会資金援助目的の物品バザー開催・おかし工房でのお菓子作りの援助・日曜大工・イベントでの販売協力・余暇活動の援助などです。

どなたでも参加していただけます。

名称	「NPO 法人パンドラの会を応援する会」
代表者	舘林 仁美
事務局	おかし工房パンドラ

事務局は、〒448-0011 刈谷市築地町池南38 おかし工房パンドラ宛 です。

多くの方の参加をお待ちしております。

お問い合わせは、0566-25-3012 までお願いします。

パンドラ・アイシンスキーツアー報告

毎年楽しみにしている「パンドラ・アイシンスキーツアー」がアイシン精機(株)ボランティアグループ Bewith の協力で今年も盛大に行われました。若いお兄さんやお姉さんに囲まれ、パンドラの仲間達は大喜びでした。母達もこの日ばかりは子どもをほっといてスキーに夢中になった人、そりで遊んだ人、それぞれがとても楽しい一日でした。アイシン精機(株)様の専用バスの利用及び、治部坂にある施設の利用等を含め、社員の社会貢献活動の協力として、認めていただいていることに感謝しています。そしてそれより増して、このツアーに参加していただける社員のボランティアさんです。準備にはじまり、ボランティアの募集、機材の準備、交渉など全てを仕事の合間をぬっていただけてました。我々は参加するだけという申し訳ないような状態です。その上、毎回会費の残金を寄付金としていただいています。

このツアーが今後も続けられようと願っています。今後ともよろしくお願い致します。



**パンドラ・アイシンスキー
楽しい思い出ありがとう！**



映画 able のお知らせ

知的発達障害のある2人の青年の日常を追ったヒューマンドキュメンタリー映画、「able」の上映会が行われます。

映画「able」は、知的発達障害者のスポーツ活動を支援する「スペシャルオリンピックス」を紹介するNHK-BSの特別番組で心を打たれた小栗謙一監督により企画されました。

知的発達障害を持つ人たちの、「ありのままの姿を伝えたい」という想いで制作されています。

今回、スペシャルオリンピックス日本・愛知の主催で、映画「able」の上映会を行います。おかし工房パンドラでも映画のチケットを扱います。ご希望の方はおかし工房パンドラまでお問い合わせ下さい。

日時：7月20日（土）海の日

1)	13:00~14:41
2)	15:00~16:41
3)	17:00~18:41
4)	19:00~20:41

場所：名古屋市、東海テレビ・テレビア大ホール

問い合わせ：おかし工房パンドラ 0566-25-3012

「NPO 法人パンドラの会」、定時総会及び講演会のお知らせ

特定非営利活動法人パンドラの会の第2回総会を開催します。

日時：6月2日（日）

総会	12:30~13:00
講演会	13:00~15:00（講演会詳細は別紙参照）

場所：刈谷市中央図書館、大会議室

多くの方の参加をお待ちしています。

ご寄付ありがとうございました

・ 杉浦さま ・ ㈱日立システムさま ・ ㈱アイシン精機ボランティアグループ Bewith さま

賛助会員ありがとうございました

・ 鈴木（き）さま ・ 鈴木（さ）さま ・ 杉浦さま ・ 長坂さま ・ 二宮さま